

討論

○反対

【近藤議員】 大山診療所に併設される家庭医療教育ステーション自体には賛成だが、まずは診療所の中長期経営計画を作成すべき。

【加藤議員】 経営改善と固定医確保は以前から議会も言っていたことだ。いつから医師を育てることが町の政策になったのか。

○賛成

【大杖議員】 大山診療所は、町としての政策や経営感覚も必要だが、地域住民の福祉の増進が最も重要であると考える。

【西尾議員】 大山診療所は、以前に議会でも調査特別委員会を設置して意見が割れたが存続となった。

これまで固定医が確保できなかったの

が、今回見つけられ、今やめればマイナスとなる。

【岡田議員】 大山診療所の長年の懸案であった常勤医師の確保は、このチャンスを見逃せば望めない。

家庭医療教育ステーションとして実施している他町では、学生との交流により、地域の活性化にもつながっている。

【森本議員】 上中山プールは、基本的な方針のもとに地元が受けられないなら廃止もある。

惰性的でなく地域にとって大切な場所は、地域によって守られるものと考ええる。

大山口駅舎は、JR負担と町負担で建設されると聞いている。JRとよい交渉を続け、よい駅舎となることを期待する。

大山診療所は、今後も鳥取大学との更なる連携をするべき。

質疑

国保診療所特別会計補正予算

【近藤議員】 一般会計から財源補填の改修であり、学生が使用する宿泊場所について使用料を徴収する考えはないか。

【加藤議員】 学生が寝泊りする間の光熱水費については徴収の考えはないか。

【健康対策課長】 使用料を徴収する考えはない。

【健康対策課長】 徴収する考えはない。



改修される旧大山診療所

討論

○反対

【加藤議員】 診療所の存続とは違い、宿泊場所の使用料などへの町費の投入「ありき」で進んでおり違和感がある。

【近藤議員】 改修と診療所の存続は別の話と考える。鳥大との連携は反対ではないが、

費用負担は対等であるべき。

○賛成

【大杖議員】 まちづくりは人づくりである。学生は、町に愛着を持ち地域の活性化や町の社会貢献に資すると考える。

鳥取大学との「家庭医療教育ステーション」とは

○目的 地域医療を志す医師や学生が研修・実践する拠点として診療所に設置し、地域医療に従事する医師の養成と資質向上を図ると同時に大山町民の健康や医療に対する意識を高める事業を展開する。

○行われる主な事業

- ・ 地域医療に関する臨床実習
- ・ 地域医療に関する研究
- ・ 地域医療に関する診療支援
- ・ 町民の健康増進に関する支援

